

各 位

静岡大学大学院自然科学系教育部

本教育部への出願にあたっては下記の請求方法により，学生募集要項を入手し，所定の様式により出願をお願いします。

なお、募集要項の配付開始時期は6月第3週以降を予定しております。

記

学生募集要項の請求方法について

(1) 窓口で請求する場合

学生募集要項は浜松キャンパス事務部浜松総務課大学院博士課程係および理学部学務係で配付予定です。

(2) 郵送にて請求する場合

封筒（長形又は角形）のオモテ面の左下に，「大学院自然科学系教育部募集要項請求」と朱書きし，ウラ面に請求者の郵便番号，住所，氏名を記入の上，次の「返信用封筒」を同封して大学院博士課程係宛に送付してください。募集要項は無料ですが，郵送料についてはご負担をお願いします。

「返信用封筒」（本学からの募集要項送付用封筒）

- ・規格 角形2号封筒（33cm×23.5cm）
- ・請求者の郵便番号，住所，氏名を明記
- ・250円分の切手を貼り，折りたたんで大学に送付する封筒に入れてください。

(3) 担当窓口及び請求先

〒432-8561 浜松市中区城北 3-5-1

静岡大学浜松キャンパス事務部浜松総務課大学院博士課程係

電話（053）478-1350

出願時および受験時の注意

静岡大学大学院自然科学系教育部

1、入学者選抜方法について

学生募集要項「4 入学者選抜方法」及び「5 試験日時及び試験場所」（4 ページ、13 ページ）において、対面での学力検査・口述試験を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の防止のため、場合によっては双方向会議システム（Skype, ZOOM 等）を使用して実施いたしますので、予めご留意ください。

双方向会議システムを使用して入学者選抜を実施する場合は、受験生にメール等により事前に通知いたします。

静岡大学大学院自然科学系教育部
(創造科学技術大学院)

(後期3年博士課程)

学 生 募 集 要 項

令和3 (2021) 年 10 月 入 学

- 一般入試
- 社会人入試
- 外国人留学生入試

令和4 (2022) 年 4 月 入 学

- 一般入試
- 社会人入試
- 外国人留学生入試



静 岡 大 学

静岡大学の理念と目標

理念「自由啓発・未来創成」

この理念は、教育だけでなく、なにごとにもとらわれない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠であり、時代を越えて受け継がれるべきものです。静岡大学の学生・教職員は、このような認識の下で、教育、研究、社会連携・産学連携、国際連携の柱として、「自由啓発」の理念を引き続き高く掲げ、共に手を携えて地域の課題、さらには地球規模の諸問題に果敢にチャレンジするとともに、人類の平和と幸福を絶えず追求し、希望に満ちた未来を創り出す「未来創成」に全力を尽くします。

静岡大学は、以上のような意味での「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

詳しくは <https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/pdf/manifesto.pdf> をご参照ください。

自然科学系教育部のアドミッション・ポリシー

【育てる人間像】

特化した専門領域に関する深い知識と時代に対応した幅広い素養を有し、地域社会や国際社会の期待に応えられる高度先端技術者及び研究者を育成します。

【目指す教育】

体系化された専門科目のみならず、進展が期待される周辺分野の知識を学ぶ「新領域科目」や社会的ニーズに対応した「基盤的共通科目」などの「T字型教育」を行うとともに、創造力、自己解決力、コミュニケーション能力を有した人材の養成を目指した教育を実践します。

【入学を期待する学生像】

- ・高い向学心をもって自然科学の真理の探究にあたることができる人、
- ・何事にも諦めず、チャレンジ精神をもって問題に対処できる人、
- ・リーダーシップを発揮し、かつ協調性をもって物事に対処できる人の入学を期待します。

【入学に必要とされる資質・能力】

自然科学系教育部が行う入学者選抜試験は、修士の学位又は専門職学位を有する者（修了見込みも含む）及びそれらと同等以上の学力があると認めた者を対象として行われます。一般入試、社会人入試、および外国人留学生入試では、修士論文又は研究業績の発表に関連する学力検査・口述試験及び出身大学院専攻の基礎科目に関連する学力検査・口述試験を行い、博士課程での教育研究遂行能力を判定します。入学を期待する学生像として、1) 自由啓発と未来創成の高い向学心をもって自然科学の真理の探究にあたり、2) 何事にも諦めず、チャレンジ精神をもって問題に対処でき、さらに3) リーダーシップを発揮し、かつ協調性をもって物事に対処できる人材をアドミッション・ポリシーに掲げています。入学試験では、研究遂行に必要な学力のみならず、それらの資質・能力についても口述試験により評価します。

令和4年度一般入試・社会人入試・外国人留学生入試募集要項 【4月入学】

1 入学者選抜方針

《ナノビジョン工学専攻》

画像技術者とナノサイエンスの研究者が一体となり、世界に先駆けて個々の光子・電子のナノ領域制御を画像工学に導入することにより、新学術分野「ナノビジョンサイエンス」を創出し、産業界に向けて力強く発展させる技術者・研究者を育成することを目標としています。そのための能力・学力・適性等を判断します。

《光・ナノ物質機能専攻》

物質のナノ空間での機能制御及び光と物質の相互作用を基にして、通信、計測、化学産業などに大きな広がりを見せる産業分野において、応用を志向しつつ、基盤となる物質科学と光化学の基礎学問に精通して将来における技術革新に対応でき、産業界を牽引できる人材の育成を目標としています。そのための能力・学力・適性等を判断します。

《情報科学専攻》

情報学・工学・理学を基礎として、新たな情報科学基盤技術を開発する専門研究者や情報科学技術を駆使して高度な情報システムを構築する高度技術者の養成を目指しています。そのための能力・学力・適性等を判断します。

《環境・エネルギーシステム専攻》

21世紀の地球環境問題等をはじめとする環境・エネルギー問題の解決のための未来型で、全体的・統合的に考える視点を持ち、新たな研究分野を開拓する人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を判断します。

《バイオサイエンス専攻》

現代バイオサイエンスやバイオテクノロジーの知見を基盤にして生命の多様性システムやその適応の統一性について、総合的に研究を推進させ、21世紀のバイオサイエンスの担い手となる広い視野と創造性豊かな思考力を備えた人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を判断します。

2 出願資格

- (1) 学位規則に基づく修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 令和4年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（文部省告示第118号）（注2）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年3月31日までに24歳に達する者
- (8) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (9) 博士論文研究基礎力審査に合格したもの、及び外国の大学において教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(注1) 出願資格(6)及び(7)については、出願資格審査を行いますので、7ページの「13 出願資格審査」を参照してください。

(注2) 平成元年9月1日文部省告示第118号

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

3 専攻・選抜別募集人員

| 専攻名 | 募集人員 | 一般入試 | 社会人入試 | 外国人留学生入試 |
|----------------|------|------|-------|----------|
| ナノビジョン工学専攻 | 10名 | 10名 | 若干名 | 若干名 |
| 光・ナノ物質機能専攻 | 9名 | 9名 | 若干名 | 若干名 |
| 情報科学専攻 | 11名 | 11名 | 若干名 | 若干名 |
| 環境・エネルギーシステム専攻 | 7名 | 7名 | 若干名 | 若干名 |
| バイオサイエンス専攻 | 8名 | 8名 | 若干名 | 若干名 |
| 合計 | 45名 | 45名 | 若干名 | 若干名 |

※ 各専攻内の研究分野については、20ページ以降の「令和3年度静岡大学大学院自然科学系教育部概要」を参照してください。

※ 試験実施後、各専攻の合格者が募集人員に満たない場合は二次募集を行います。

4 入学者選抜方法

入学者の選考は、学力検査・口述試験、成績証明書及びその他の提出された書類の結果を総合して行います。具体的には、修士論文又は研究業績の発表（発表時間は30分）後、それに関連する学力検査・口述試験及び出身大学院専攻の基礎科目に関連する学力検査・口述試験を行います。修士課程修了後の研究経歴を有する者は、修士課程修了後の研究業績について発表しても結構です。なお、発表用のパーソナルコンピュータ（プレゼンテーションソフトを含む）は持参してください。

5 試験日時及び試験場所

| 期 日 | 時 間 | 試 験 科 目 | 試 験 会 場 |
|------------------|-------|-----------|--|
| 令和3年 8月23日(月) | 指定の時間 | 学力検査・口述試験 | 《浜松キャンパス》 浜松市中区城北3丁目5-1 《静岡キャンパス》 静岡市駿河区大谷836 |

※1 試験会場は、原則として20ページ以降の「令和3年度静岡大学大学院自然科学系教育部概要」に記載のある第1志望教員が所属するキャンパス（浜松・静岡のいずれか）となります。試験場所及び時間については、受験票を送付する際に指定します。

※2 外国人留学生入試において、渡日前入試を希望する場合は、別に日時を設定し、インターネットインタビューを実施します。

(注) 試験場所までの交通機関

◇《浜松キャンパス》

遠鉄バスのりば等 JR 東海浜松駅前北口バスターミナル15,16番のりばから 全路線「静岡大学」下車。バスの所要時間約20分

◇《静岡キャンパス》

JR 静岡駅北口のしずてつジャストラインバス8B番乗り場から美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷」（静岡大学経由）行き、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」（静岡大学経由）行きに乘車し「静岡大学」又は「静大片山」で下車。

美和大谷線「東大谷」（静岡大学を経由しないもの）行きに乘車した場合は、「片山」で下車。バスの所要時間約25分

6 出願書類

- (1) 入学願書（所定の用紙）
- (2) 受験票及び写真票（所定の用紙、出願前3か月以内に撮影した写真を指定欄に貼付）
- (3) 志望調書（所定の用紙）
- (4) 出身大学学部の成績証明書
- (5) 出身大学大学院研究科の成績証明書
- (6) 修士課程修了(又は見込み)証明書（出願資格(6)～(7)の者は最終学歴証明書）
- (7) 参考資料

出願資格(1)、(3)、(4)、(5)、(8)における修士の学位又は専門職学位を有する者は、修士論文の写し又はその概要（様式任意、A4判紙・2枚程度）。なお、学力検査・口述試験で修士課程修了後の研究業績について説明する場合は、その研究業績書（所定の用紙2000字）。

出願資格(2)の該当者及び(4)の該当者で修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者は、研究経過の概要（様式任意、A4判紙・2枚程度）。

参考論文等があればその別刷。

- (8) 受験許可(承諾)書（所定の用紙、官公庁・企業等に在籍のまま入学を希望する者は提出）
- (9) 返信用封筒（定形封筒に住所・氏名及び郵便番号を明記し、必ず374円切手を貼ってください。）
- (10) 入学検定料 30,000円

出願資格審査の対象となる出願資格(6)及び(7)の者を除き、ゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で、同封の「払込取扱票」により、郵便局の受付窓口で払い込み、振替払込証明書を「〈入学検定料〉振替払込受付証明書」貼付用紙の所定欄に貼り付けて提出してください。

なお、**現在、静岡大学大学院修士課程又は専門職学位課程に在籍中の者で、令和4年4月以降引き続き大学院自然科学系教育部に進学する者は、入学検定料を徴収しません。**

出願資格審査の対象となる出願資格(6)及び(7)の者は、出願資格審査申請時に入学検定料（30,000円）の払込は不要です。出願資格審査の結果を令和3年7月13日（火）に通知しますので、認定された場合は通知文の指示に従って提出をお願いします。

- (11) あて名票（所定の用紙。合格通知書を受け取る場所の郵便番号・住所・氏名を記入）
- (12) 社会人入試出願者は、研究業績書（所定の用紙、A4判両面2ページ以内）及び所属長の推薦書（提出及び様式は任意）
- (13) 外国人出願者については、パスポートの写し（本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証の部分）

7 願書受付期間

(持参の場合の受付時間は、8:30～17:15 (12:30～13:30 を除く。))

- (1) 出願資格(1)、(2)、(9)の者及び出願資格(6)、(7)のうち本大学院が出願資格を認めた者
令和3年7月13日(火)～7月19日(月)〔必着〕
- (2) 出願資格(3)、(4)、(5)、(8)の者(主に外国で教育を受けた者)
令和3年7月2日(金)～7月6日(火)〔必着〕

出願書類の内容確認に時間を要するため、早期に受け付けを行います。

事前に大学院博士課程係へ問い合わせの上、書類は一度に提出するようお願いします。

8 願書提出先

〒432-8561 浜松市中区城北3丁目5-1

静岡大学浜松総務課大学院博士課程係

電話 <053>478-1350 Fax <053>478-1359

9 出願手続

出願書類は、上記願書提出先に直接持参するか又は郵送すること。ただし、郵送の場合は書留郵便とし、封筒表面に「大学院自然科学系教育部出願書類」と朱書してください。

10 合格者発表

令和3年9月7日(火) 10:00

静岡大学理学部A棟玄関及び静岡大学創造科学技術大学院棟玄関に掲示するとともに、合格者には別途本人あてに通知します。

11 入学手続

入学手続の詳細については合格者に別途通知しますが、概要は次のとおりです。

(1) 入学手続日時及び場所

入学手続日 令和4年3月中旬予定

手続方法 静岡大学大学院博士課程係(郵送)

(2) 納付金に関する注意事項

① 上記の入学手続日に入学料を納入しないときは、入学資格を失うので注意してください。

② **現在、静岡大学大学院の修士課程又は専門職学位課程に在籍中の者で、令和4年4月以降引き続き大学院自然科学系教育部に進学する者は、入学料は不要です。**

(3) 入学料及び授業料

入学料 282,000円《令和3年度実績額》

授業料 年額 535,800円(半期分 267,900円)《令和3年度実績額》

(注)① 前期分の授業料については、入学手続書類同封の振込用紙を使用し、指定された期日までに納入してください。

② 入学手続完了者が、令和4年3月31日までに入学を辞退した場合は、入学料はいかなる理由があっても返還しません。

③ 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

④ 入学時及び在学中に授業料改訂が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 入学料・授業料免除、長期履修学生制度

〔入学料・授業料免除〕

大学院入学時に年間所得が定められた水準より低い場合は入学料免除、授業料免除を受けられる場合があります。入学料免除・授業料免除の詳細な内容については、入学手続案内でお知らせしますが、詳しくは大学院博士課程係までお問い合わせください。

〔長期履修学生制度〕

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限3年間で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて6年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳しい内容については、入学手続き案内でお知らせしますが、詳しくは大学院博士課程係までお問い合わせください。

12 注意事項

- (1) 現在、静岡大学大学院の修士課程又は専門職学位課程に在籍中の者で、令和4年4月以降引き続き大学院自然科学系教育部に進学する者が、上記の入学手続き日に入学料を納入しない場合でも、入学手続きに必要な「提出書類」は入学手続き日に必ず提出してください。書類を提出しなかった場合は入学を辞退したものとします。
- (2) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。ただし、住所や連絡先等に変更のある場合は必ず届け出てください。
- (3) 他の大学院博士課程に在学中の者は、入学試験に合格してもその大学院に在学のままでは入学することはできません。
- (4) 出願用紙類を郵便で請求する場合は、郵便番号及びあて名を明記した返信用封筒（角形2号の封筒に250円分の切手を貼付）を同封して静岡大学大学院博士課程係へ請求してください。
なお、その際封筒の表に「大学院自然科学系教育部入学願書請求」と朱書してください。
- (5) 出願資格(3)、(4)、(5)、(8)項に該当する者は、事前に必要な調書類を提出し内容の確認を行います。

13 出願資格審査

出願資格(6)の文部科学大臣の指定した者及び出願資格(7)の修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力の認定については、事前に静岡大学大学院博士課程係（6ページ「8願書提出先」）に問い合わせの上、下記の書類の提出が必要です。提出書類（調書類）及び申請手続きについては、次のとおりとし、これらの書類により審査を行います。

- (1) 提出書類（調書類）
 - a 静岡大学大学院自然科学系教育部入学試験出願資格認定審査調書(所定の用紙)
 - b 出身大学学部の卒業証明書
 - c 出身大学学部の成績証明書
 - d 研究業績書(所定の用紙)
 - e 研究業績のリスト(所定の用紙)
 - f 学術論文・講演の別刷等
 - g 返信用封筒（定形封筒に住所・氏名及び郵便番号を明記し、必ず374円切手を貼ってください。）
- (2) 提出方法と提出期間
令和3年7月2日（金）～7月6日（火）〔必着〕の間に静岡大学大学院博士課程係（6ページ「8願書提出先」）に提出してください。郵送の場合もこの期間内に必着です。
- (3) 認定結果の通知
認定の結果は令和3年7月13日（火）に本人あて通知します。
- (4) 願書受付期間及び出願書類
認定された場合は、通知文の指示に従い5ページ「6出願書類」に説明のある次の書類を6ページ「7願書受付期間」に記載のある7月13日（火）から7月19日（月）〔必着〕の間に提出（郵送）願います。
 - a 入学願書（所定の用紙）
 - b 受験票及び写真票（所定の用紙、出願前3か月以内に撮影した写真を指定欄に貼付）
 - c 志望調書（所定の用紙）
 - d 受験許可（承諾）書（所定の用紙、官公庁・企業等に在籍のまま入学する者は提出）

- e 社会人入試出願者は、所属長の推薦書（提出及び様式は任意）
- f 入学検定料 30,000円（同封の「払込取扱票」により、郵便局の受付窓口で払い込み、振替払込証明書を「〈入学検定料〉振替払込受付証明書」貼付用紙の所定欄に貼り付けて提出してください）
- g あて名票（所定の用紙。合格通知書を受け取る場所の郵便番号・住所・氏名を記入）
- h 外国人出願者については、パスポートの写し（本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証の部分）
- i 返信用封筒（定形封筒に住所・氏名及び郵便番号を明記し、必ず374円切手を貼ってください。）

14 障害等のある入学志願者の受験特別措置

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願する前に自然科学系教育部と相談する必要がありますので、下記により申請してください。

相談の結果は決定次第、本人に連絡します。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

| | |
|-------|---|
| 申請期限 | 原則として1か月前まで |
| 申請の方法 | 『大学院受験特別措置申請書』に、『障害者手帳』の写し又は医師の『診断書』を添えて申請してください。 なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。 |
| 連絡先 | 〒432-8561 浜松市中区城北3丁目5-1 静岡大学大学院博士課程係 TEL 053-478-1350 FAX 053-478-1359 |

- 【注】 1 郵便による照会及び『大学院受験特別措置申請書』の用紙を請求する場合は、84円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形3号：23.5cm×12cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付してください。
- 2 電話による照会及び「大学院受験特別措置申請書」を持参する場合は、土曜日、日曜日及び休日には受け付けませんので注意してください。

15 検定料の返還について

払込後の入学検定料は、下記の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。

- (1) 検定料の返還請求ができる場合
 - ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ③ 出願書類、出願要件に不備があり出願が受理されなかった場合
- (2) 返還する検定料の金額
志願者本人の申出により二重払込分または全額を返還します。
- (3) 返還請求の方法

上記(1)の①または②に該当する場合は、便箋等を使って次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「郵便振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」または「払込金受領証」を添付して、必ず令和4年2月28日(月)【必着】までに静岡大学大学院博士課程係へ郵送してください。

また、③の場合は出願書類返却時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は、請求者の負担とします。

静岡大学入学検定料返還請求書

令和 年 月 日

静岡大学長 殿

- 1、返還請求の理由
- 2、入試区分(一般入試、社会人入試、外国人留学生入試)
- 3、志望専攻名
- 4、氏名(フリガナ)
- 5、現住所
- 6、連絡先電話番号
- 7、返還請求額(¥30,000)
- 8、返還金振込先
 - ・金融機関名、支店名
 - ・預金種別、口座番号
 - ・口座名義(フリガナ)
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

- (4) 大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料等の特別措置について
大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除又は返還します。詳しくは、以下の専用サイトをご覧ください。
<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi.html>

16 入試成績情報の開示

当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を、令和3年11月15日(月)から令和3年12月15日(水)までの間受け付けます。詳細は本学教務課大学院係までお問い合わせください。

教務課大学院係 TEL054-238-4332 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

17 個人情報の取扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。
- (2) 入学者の個人情報については、①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)、③授業料徴収、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。

18 安全保障輸出管理について

静岡大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集 <https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.htm>

第2章 組織・運営＞静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/ampo/gaiyou.html>

ENGLISH PAGE <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/englishpage.html>

令和3年度一般入試・社会人入試・外国人留学生入試募集要項 【10月入学】

1 入学者選抜方針

《ナノビジョン工学専攻》

画像技術者とナノサイエンスの研究者が一体となり、世界に先駆けて個々の光子・電子のナノ領域制御を画像工学に導入することにより、新学術分野「ナノビジョンサイエンス」を創出し、産業界に向けて力強く発展させる技術者・研究者を育成することを目標としています。そのための能力・学力・適性等を判断します。

《光・ナノ物質機能専攻》

物質のナノ空間での機能制御及び光と物質の相互作用を基にして、通信、計測、化学産業などに大きな広がりを見せる産業分野において、応用を志向しつつ、基盤となる物質科学と光化学の基礎学問に精通して将来における技術革新に対応でき、産業界を牽引できる人材の育成を目標としています。そのための能力・学力・適性等を判断します。

《情報科学専攻》

本専攻では、情報学・工学・理学を基礎として、新たな情報科学基盤技術を開発する専門研究者や情報科学技術を駆使して高度な情報システムを構築する高度技術者の養成を目指しています。そのための能力・学力・適性等を判断します。

《環境・エネルギーシステム専攻》

21世紀の地球環境問題等をはじめとする環境・エネルギー問題の解決のための未来型で、全体的・統合的に考える視点を持ち、新たな研究分野を開拓する人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を判断します。

《バイオサイエンス専攻》

現代バイオサイエンスやバイオテクノロジーの知見を基盤にして生命の多様性システムやその適応の統一性について、総合的に研究を推進させ、21世紀のバイオサイエンスの担い手となる広い視野と創造性豊かな思考力を備えた人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を判断します。

2 出願資格

- (1) 学位規則に基づく修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 令和3年9月30日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年9月30日までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年9月30日までに授与される見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（文部省告示第118号）（注2）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3年9月30日までに24歳に達する者
- (8) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (9) 博士論文研究基礎力審査に合格したもの、及び外国の大学において教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

（注1） 出願資格(6)及び(7)については、出願資格審査を行いますので、16ページの「13 出願資格審査」を参照してください。

（注2） 平成元年9月1日文部省告示第118号

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

3 専攻・選抜別募集人員

| 専攻名 | 募集人員 | 一般入試 | 社会人入試 | 外国人留学生入試 |
|----------------|------|------|-------|----------|
| ナノビジョン工学専攻 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 |
| 光・ナノ物質機能専攻 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 |
| 情報科学専攻 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 |
| 環境・エネルギーシステム専攻 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 |
| バイオサイエンス専攻 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 |
| 合計 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 |

※ 各専攻内の研究分野については、20ページ以降の「令和3年度静岡大学大学院自然科学系教育部概要」を参照してください。

4 入学者選抜方法

入学者の選考は、学力検査・口述試験、成績証明書及びその他の提出された書類の結果を総合して行います。具体的には、修士論文又は研究業績の発表（発表時間は30分）後、それに関連する学力検査・口述試験及び出身大学院専攻の基礎科目に関連する学力検査・口述試験を行います。修士課程修了後の研究経歴を有する者は、修士課程修了後の研究業績について発表しても結構です。なお、発表用のパーソナルコンピュータ（プレゼンテーションソフトを含む）は持参してください。

5 試験日時及び試験場所

| 期 日 | 時 間 | 試 験 科 目 | 試 験 会 場 |
|------------------|-------|-----------|--|
| 令和3年 8月23日(月) | 指定の時間 | 学力検査・口述試験 | 《浜松キャンパス》 浜松市中区城北3丁目5-1 《静岡キャンパス》 静岡市駿河区大谷836 |

※1 試験会場は、原則として20ページ以降の「令和3年度静岡大学大学院自然科学系教育部概要」に記載のある第1志望教員が所属するキャンパス（浜松・静岡のいずれか）となります。試験場所については、受験票を送付する際に指定します。

※2 外国人留学生入試において、渡日前入試を希望する場合は、別に日時を設定し、インターネットインタビューを実施します。

(注) 試験場所までの交通機関

◇《浜松キャンパス》

遠鉄バスのりば等 JR 東海浜松駅前北口バスターミナル 15, 16 番のりばから 全路線「静岡大学」下車。バスの所要時間約 20 分

◇《静岡キャンパス》

JR 静岡駅北口のしずてつジャストラインバス 8B 番乗り場から美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷」（静岡大学経由）行き、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」（静岡大学経由）行きに乗り「静岡大学」又は「静大片山」で下車。

美和大谷線「東大谷」（静岡大学を経由しないもの）行きに乗りした場合は、「片山」で下車。バスの所要時間約 25 分

6 出願書類

- (1) 入学願書（所定の用紙）
- (2) 受験票及び写真票（所定の用紙、出願前3か月以内に撮影した写真を指定欄に貼付）
- (3) 志望調書（所定の用紙）
- (4) 出身大学学部の成績証明書
- (5) 出身大学大学院研究科の成績証明書
- (6) 修士課程修了(又は見込み)証明書（出願資格(6)～(7)の者は最終学歴証明書）
- (7) 参考資料

出願資格(1)、(3)、(4)、(5)、(8)における修士の学位又は専門職学位を有する者は、修士論文の写し又はその概要（様式任意、A4判紙・2枚程度）。なお、学力検査・口述試験で修士課程修了後の研究業績について説明する場合は、その研究業績書（所定の用紙2000字）。

出願資格(2)の該当者及び(4)の該当者で修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者は、研究経過の概要（様式任意、A4判紙・2枚程度）。

参考論文等があればその別刷。

- (8) 受験許可(承諾)書（所定の用紙、官公庁・企業等に在籍のまま入学を希望する者は提出）
- (9) 返信用封筒（定形封筒に住所・氏名及び郵便番号を明記し、必ず374円切手を貼ってください。）
- (10) 入学検定料 30,000円

出願資格審査の対象となる出願資格(6)及び(7)の者を除き、ゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で、同封の「払込取扱票」により、郵便局の受付窓口で払い込み、振替払込証明書を「〈入学検定料〉振替払込受付証明書」貼付用紙の指定欄に貼り付けて提出してください。いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

なお、現在、静岡大学大学院修士課程又は専門職学位課程に在籍中の者で、令和3年10月以降引き続き大学院自然科学系教育部に進学する者は、入学検定料を徴収しません。

出願資格審査の対象となる出願資格(6)及び(7)の者は、出願資格審査申請時に入学検定料（30,000円）の払込は不要です。出願資格審査の結果を令和3年7月13日（火）に通知しますので、認定された場合は通知文の指示に従って提出をお願いします。

- (11) あて名票（所定の用紙。合格通知書を受け取る場所の郵便番号・住所・氏名を記入）
- (12) 社会人入試出願者は、研究業績書（所定の用紙、A4判両面2ページ以内）及び所属長の推薦書（提出及び様式は任意）
- (13) 外国人出願者については、パスポートの写し（本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証の部分）

7 願書受付期間

(持参の場合の受付時間は、8:30～17:15 (12:30～13:30 を除く。))

- (1) 出願資格(1)、(2)、(9)の者及び出願資格(6)、(7)のうち本大学院が出願資格を認めた者
令和3年7月13日(火)～7月19日(月)〔必着〕
- (2) 出願資格(3)、(4)、(5)、(8)の者(主に外国で教育を受けた者)
令和3年7月2日(金)～7月6日(火)〔必着〕

出願書類の内容確認に時間を要するため、早期に受け付けを行います。

事前に大学院博士課程係へ問い合わせの上、書類は一度に提出するようお願いします。

8 願書提出先

〒432-8561 浜松市中区城北3丁目5-1

静岡大学浜松総務課大学院博士課程係

電話 <053>478-1350 Fax <053>478-1359

9 出願手続

出願書類は、上記願書提出先に直接持参するか又は郵送すること。ただし、郵送の場合は書留郵便とし、封筒表面に「大学院自然科学系教育部出願書類」と朱書してください。

10 合格者発表

令和3年9月7日(火) 10:00

静岡大学理学部A棟玄関及び静岡大学創造科学技術大学院棟玄関に掲示するとともに、合格者には別途本人あてに通知します。

11 入学手続

入学手続の詳細については合格者に別途通知しますが、概要は次のとおりです。

(1) 入学手続日時及び場所

入学手続日 令和3年9月下旬予定

手続方法 静岡大学大学院博士課程係(郵送)

(2) 納付金に関する注意事項

① 上記の入学手続日に入学料を納入しないときは、入学資格を失うので注意してください。

② **現在、静岡大学大学院修士課程又は専門職学位課程に在籍中の者で、令和3年10月以降引き続き大学院自然科学系教育部に進学する者は、入学料は不要です。**

(3) 入学料及び授業料

入学料 282,000円《令和3年度実績額》

授業料 年額 535,800円(半期分 267,900円)《令和3年度実績額》

(注)① 後期分の授業料については、令和3年10月1日から同年10月31日までに納入してください。

② 入学手続完了者が、令和3年9月30日までに入学を辞退した場合、入学料はいかなる理由があっても返還しません。

③ 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

④ 入学時及び在学中に授業料改訂が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 入学料・授業料免除、長期履修学生制度

[入学料・授業料免除]

大学院入学時に年間所得が定められた水準より低い場合は入学料免除、授業料免除を受けられる場合があります。入学料免除・授業料免除の詳細な内容については、入学手続案内でお知らせしますが、詳しくは大学院博士課程係までお問い合わせください。

〔長期履修学生制度〕

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限3年間で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて6年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳しい内容については、入学手続き案内でお知らせしますが、詳しくは大学院博士課程係までお問い合わせください。

12 注意事項

- (1) 現在、静岡大学大学院の修士課程又は専門職学位課程に在籍中の者で、令和3年10月以降引き続き大学院自然科学系教育部に進学する者が、上記の入学手続き日に入学料を納入しない場合でも、入学手続きに必要な「提出書類」は入学手続き日に必ず提出してください。書類を提出しなかった場合は入学を辞退したものとします。
- (2) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。ただし、住所や連絡先等に変更のある場合は必ず届出てください。
- (3) 他の大学院博士課程に在学中の者は、入学試験に合格してもその大学院に在学のままでは入学することはできません。
- (4) 出願用紙類を郵便で請求する場合は、郵便番号及びあて名を明記した返信用封筒（角形2号の封筒に250円分の切手を貼付）を同封して静岡大学大学院博士課程係へ請求してください。
なお、その際封筒の表に「大学院自然科学系教育部入学願書請求」と朱書してください。
- (5) 出願資格(3)、(4)、(5)、(8)項に該当する者は、事前に必要な調書類を提出し内容の確認を行います。

13 出願資格審査

出願資格(6)の文部科学大臣の指定した者及び出願資格(7)の修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力の認定については、事前に静岡大学大学院博士課程係（15ページ「8願書提出先」）に問い合わせの上、下記の書類の提出が必要です。提出書類（調書類）及び申請手続きについては、次のとおりとし、これらの書類により審査を行います。

- (1) 提出書類（調書類）
 - a 静岡大学大学院自然科学系教育部入学試験出願資格認定審査調書(所定の用紙)
 - b 出身大学学部の卒業証明書
 - c 出身大学学部の成績証明書
 - d 研究業績書(所定の用紙)
 - e 研究業績のリスト(所定の用紙)
 - f 学術論文・講演の別刷等
 - g 返信用封筒（定形封筒に住所・氏名及び郵便番号を明記し、必ず374円切手を貼ってください。）
- (2) 提出方法と提出期間
令和3年7月2日（金）～7月6日（火）〔必着〕の間に静岡大学大学院博士課程係（15ページ「8願書提出先」）に提出してください。郵送の場合もこの期間内に必着です。
- (3) 認定結果の通知
認定の結果は令和3年7月13日（火）に本人あて通知します。
- (4) 願書受付期間及び出願書類
認定された場合は、通知文の指示に従い14ページ「6出願書類」に説明のある次の書類を15ページ「7願書受付期間」に記載のある7月13日（火）から7月19日（月）〔必着〕の間に提出（郵送）願います。
 - a 入学願書（所定の用紙）
 - b 受験票及び写真票（所定の用紙、出願前3か月以内に撮影した写真を指定欄に貼付）
 - c 志望調書（所定の用紙）
 - d 受験許可（承諾）書（所定の用紙、官公庁・企業等に在籍のまま入学する者は提出）

- e 社会人特別選抜出願者は、所属長の推薦書（提出及び様式は任意）
- f 入学検定料 30,000円（同封の「払込取扱票」により、郵便局の受付窓口で払い込み、振替払込証明書を「〈入学検定料〉振替払込受付証明書」貼付用紙の所定欄に貼り付けて提出してください）
- g あて名票（所定の用紙。合格通知書を受け取る場所の郵便番号・住所・氏名を記入）
- h 外国人出願者については、パスポートの写し（本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証の部分）
- i 返信用封筒（定形封筒に住所・氏名及び郵便番号を明記し、必ず374円切手を貼ってください。）

14 障害等のある入学志願者の受験特別措置

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願する前に自然科学系教育部と相談する必要がありますので、下記により申請してください。

相談の結果は決定次第、本人に連絡します。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

| | |
|-------|---|
| 申請期限 | 原則として1か月前まで |
| 申請の方法 | 『大学院受験特別措置申請書』に、『障害者手帳』の写し又は医師の『診断書』を添えて申請してください。 なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。 |
| 連絡先 | 〒432-8561 浜松市中区城北3丁目5-1 静岡大学大学院博士課程係 TEL 053-478-1350 FAX 053-478-1359 |

- 【注】 1 郵便による照会及び『大学院受験特別措置申請書』の用紙を請求する場合は、84円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形3号：23.5cm×12cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付してください。
- 2 電話による照会及び「大学院受験特別措置申請書」を持参する場合は、土曜日、日曜日及び休日には受け付けませんので注意してください。

15 検定料の返還について

払込後の入学検定料は、下記の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。

(1) 検定料の返還請求ができる場合

- ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 出願書類、出願要件に不備があり出願が受理されなかった場合

(2) 返還する検定料の金額

志願者本人の申出により二重払込分または全額を返還します。

(3) 返還請求の方法

上記(1)の①または②に該当する場合は、便箋等を使って次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「郵便振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」または「払込金受領証」を添付して、必ず令和4年2月28日(月)【必着】までに静岡大学大学院博士課程係へ郵送してください。

また、③の場合は出願書類返却時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は、請求者の負担とします。

静岡大学入学検定料返還請求書

令和 年 月 日

静岡大学長 殿

- 1、返還請求の理由
- 2、入試区分(一般入試、社会人入試、外国人留学生入試)
- 3、志望専攻名
- 4、氏名(フリガナ)
- 5、現住所
- 6、連絡先電話番号
- 7、返還請求額(¥30,000)
- 8、返還金振込先
 - ・金融機関名、支店名
 - ・預金種別、口座番号
 - ・口座名義(フリガナ)
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

(4) 大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料等の特別措置について

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除又は返還します。詳しくは、以下の専用サイトをご覧ください。
<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi.html>

16 入試成績情報の開示

当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を、令和3年11月15日(月)から令和3年12月15日(水)までの間受け付けます。詳細は本学教務課大学院係までお問い合わせください。

教務課大学院係 TEL054-238-4332 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

17 個人情報の取扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び

「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学手続業務，④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。
- (2) 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，授業料免除・奨学金申請，就職支援等），③授業料徴収，④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。

18 安全保障輸出管理について

静岡大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。
規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集 <https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.htm>

第2章 組織・運営 > 静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

ENGLISH PAGE <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html>

令和3(2021)年度静岡大学大学院自然科学系教育部(後期3年博士課程)概要
Graduate School of Science and Technology, Educational Division

ナノビジョン工学専攻
Department of Nanovision Technology

※1: 令和4年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2022
※2: 令和5年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2023
※3: 令和6年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2024

| 担当教員 Academic Staff | 教育研究分野 Research Area | 所属 キャンパス |
|---|---|-----------------|
| 教授 Prof. 青木 徹 Toru Aoki | 不可視光イメージング, エネルギー弁別高エネルギー電磁波 (X線・ガンマ線)イメージング Unvisible Light Imaging, Energy Discriminated High-energy Radiation (X-ray, Gamma-ray) Imaging | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. 池田 浩也 Hiroya Ikeda | 赤外線センサ・生体センサのためのナノ構造熱電変換材料の開発 Thermoelectric Nanomaterials for Infrared Photodetector and Physiological Sensor | 浜松 Hamamatsu |
| ※3 教授 Prof. 石田 明広 Akihiro Ishida | 量子井戸物性・デバイス Physics and Device Applications of Semiconductor Quantum Wells | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. 居波 渉 Wataru Inami | 先端光計測, 顕微鏡手法に関する研究 Advanced optical measurement and microscopy | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. 井上 翼 Yoku Inoue | 半導体およびカーボン材料によるナノマテリアルテクノロジー Semiconductor and Carbon Nanomaterial Technology | 浜松 Hamamatsu |
| ※2 教授 Prof. 猪川 洋 Hiroshi Inokawa | ナノデバイスを用いた回路・システム集積化の研究 Research on Integrated Nanodevices for Circuits and Systems | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. 海老澤 嘉伸 Yoshinobu Ebisawa | イメージング技術に基づく視覚工学, 視覚-眼球運動系の心理物理 Vision Engineering Based on Imaging Technology and Psychophysics of Visuo-oculomotor System | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. 小野 行徳 Yukinori Ono | CMOS技術を基盤とした量子ナノエレクトロニクス Quantum Nanoelectronics based on CMOS Technologies | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. 香川 景一郎 Keiichiro Kagawa | 情報光学, 高機能CMOSイメージセンサ, 光学・撮像・処理融合 Information photonics, functional CMOS image sensor, optics- sensing-processing fusion | 浜松 Hamamatsu |
| ※3 教授 Prof. 金武 佳明 Kamen Kanev | 表面情報伝達担体に関する研究とその応用 Research on Surface Communication Carriers and Its Application (Surface Based Interactions) | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. 川田 善正 Yoshimasa Kawata | ナノイメージング, 光ナノ加工, 光制御を目的としたナノフォトニクス Nanophotonics for Nanometric Imaging, Optical Fabrication, and Optical Control | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. 川人 祥二 Shoji Kawahito | 機能集積イメージングデバイスとシステム Imaging Devices and Systems Integrating Advanced Functions | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. 佐々木 哲朗 Tetsuo Sasaki | 医薬品の結晶成長とテラヘルツレーザー分光による評価 Crystal Evaluation by THz Laser Spectroscopy and Crystal Growth of Pharmaceuticals | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. 橋口 原 Gen Hashiguti | 集積化微小電気機械システム Integrated Micro-Electro-Mechanical System | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. 原 和彦 Kazuhiko Hara | ナノビジョン光材料・デバイスの開発 Development of the Optoelectronic Materials and Devices for the Nanovision systems | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. Mizeikis Vygasantas | フェムト秒レーザーリソグラフィによるフォトニック結晶の作製とその光学 特性評価 Fabrication and optical characterization of photonic crystal structures by femtosecond laser lithography | 浜松 Hamamatsu |

| 担当教員 Academic Staff | | | 教育研究分野 Research Area | 所属 キャンパス |
|------------------------|--------------------|--------------------------|--|-----------------|
| ※1 | 教授 Prof. | 三村 秀典 Hidenori Mimura | ナノビジョンサイエンスの創成を目指したナノ電子源と光電子材料の研究 Nano-field Emitters and Opto-electronic Materials for Nanovision | 浜松 Hamamatsu |
| | 准教授 Assoc.Prof. | 荻野 明久 Akihisa Ogino | 熱電子発電, プラズマ応用 Thermionic Energy Conversion, Plasma Application | 浜松 Hamamatsu |
| | 准教授 Assoc.Prof. | 小野 篤史 Atsushi Ono | 近接場光学, プラズモニクス Near-field Optics, Plasmonics | 浜松 Hamamatsu |
| | 准教授 Assoc.Prof. | 光野 徹也 Tetsuya Kono | ナノ-マイクロ構造, ナノ-マイクロフォトニクス Nano-micro structures, Nano-micro photonics | 浜松 Hamamatsu |
| | 准教授 Assoc.Prof. | 小南 裕子 Hiroko Kominami | 光物性, 光デバイス Optical properties of materials, Opto-electronic devices | 浜松 Hamamatsu |
| | 准教授 Assoc.Prof. | 武田 正典 Masanori Takeda | テラヘルツ帯における分光及び高感度超伝導検出器技術に関する研究 Research on Spectroscopy and High-Sensitivity Superconducting Detector Technologies in the Terahertz Band | 浜松 Hamamatsu |
| | 准教授 Assoc.Prof. | Tripathi Saroj Raman | テラヘルツフォトニクス, テラヘルツ波の産業応用 Terahertz photonics, Industrial application of terahertz wave | 浜松 Hamamatsu |
| | 准教授 Assoc.Prof. | 中野 貴之 Takayuki Nakano | III族窒化物半導体結晶成長, 光機能デバイス, 熱中性子半導体検出器 Epitaxial growth of group-III nitride semiconductor, Optical functional devices, Thermal neutron semiconductor detector | 浜松 Hamamatsu |
| | 准教授 Assoc.Prof. | 根尾 陽一郎 Yoichiro Neo | スミパースセル超放射, 高感度撮像管, 高輝度電子源, 有機高分子ファイバーデバイス Superradiant in tera-hertz, high sensitive imaging tube, high brightness cathode, organic polymer fibrous devices | 浜松 Hamamatsu |
| | 准教授 Assoc.Prof. | 二川 雅登 Masato Futagawa | 農業や環境分野のための水分量, pH, イオン濃度計測が可能な多機能型センサデバイス・センサ計測回路に関する研究 Multimodal Sensor Devices and Sensor Measurement Circuits to Monitor Water Content, pH, and Ion Concentration for Agriculture and Environmental fields | 浜松 Hamamatsu |
| | 准教授 Assoc.Prof. | 堀 匡寛 Masahiro Hori | シリコン中の単一電荷, 単一スピン操作 Manipulation of Single Charge and Spin in Silicon | 浜松 Hamamatsu |

光・ナノ物質機能専攻

Department of Optoelectronics and Nanostructure Science

※1: 令和4年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2022

※2: 令和5年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2023

※3: 令和6年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2024

| 担当教員 Academic Staff | | 教育研究分野 Research Area | 所属 キャンパス |
|------------------------|------------------------------|--|-----------------|
| 教授 Prof. | 岩田 太 Futoshi Iwata | ナノスケール表面計測・加工および光精密機器開発 Nano-scale Measurement, Fabrication and Optical Precision Instruments | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 江上 力 Chikara Egami | 超高密度光メモリ, 非線形レーザー顕微鏡, 光情報処理 High Dense Optical Storage System, Nonlinear Optical Microscope, Optical Information Processing | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 岡林 利明 Toshiaki Okabayashi | 高分解能分光法による短寿命分子種とクラスターの物理化学的研究 Physico-chemical Studies on the Transient Molecules and Clusters Using the High Resolution Spectroscopic Method | 静岡 Shizuoka |
| ※2 教授 Prof. | 喜多 隆介 Ryusuke Kita | 酸化物高温超伝導体材料の作製および評価 Synthesis and Characterization of Oxide High-Tc Superconductors | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 久保野 敦史 Atsushi Kubono | 有機凝集体(液晶、高分子薄膜)の構造と物性 Structures and Physical Properties of Organic Condensed Matter - Liquid Crystals and Polymeric Thin Films | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 小林 健二 Kenji Kobayashi | 超分子化学に基づく物質創製と機能化 Construction and Function of New Materials Based on Supramolecular Chemistry | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. | 近藤 淳 Jun Kondoh | 表面波素子の化学センサ, バイオセンサ, およびワイヤレスセンサへの応用とマイクロ流体素子開発 Application of surface wave devices for chemical, bio- and wireless sensors, and development of microfluidic system | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 近藤 満 Mitsuru Kondo | 新機能発現へ向けた新しい金属錯体の合成 Synthetic Studies of Coordination Materials for Creations of New Functional Solids | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. | 昆野 昭則 Akinori Konno | ナノマテリアルの光電気化学および光電変換への応用 Photoelectrochemistry of Nanomaterials and Their Applications to Photoelectric Energy Conversion | 浜松 Hamamatsu |
| ※2 教授 Prof. | 坂本 健吉 Kenkichi Sakamoto | 有機ケイ素化学を基盤とする機能性材料 Functional Materials Based on Organosilicon Chemistry | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. | 下村 勝 Masaru Shimomura | 原子スケールで制御された表面界面構造の研究 Research on atomically controlled surface and interface structures | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 関根 理香 Rika Sekine | 計算・理論化学を用いた無機化合物の構造・物性・反応性の解明 Computational and Theoretical Chemistry for Analysis of Structure, Properties, and Reactivity of Inorganic Compounds. | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. | 立岡 浩一 Hirokazu Tatsuoka | ナノ光電及び熱電変換材料の作製と評価 Syntheses and Characterizations of Nano-optoelectronic & Nano-thermoelectric Materials | 浜松 Hamamatsu |
| ※3 教授 Prof. | 富田 誠 Makoto Tomita | ナノ構造媒質中での光の伝播, 放射などの量子光学, 量子エレクトロニクス Quantum Optics, Quantum Electronic, Including Light Propagation and Emission in Nanostructured Media | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. | 鳥居 肇 Hajime Torii | 液体系と生体分子系のダイナミクス・機能と相互作用の理論的解析 Theoretical Analysis of the Dynamics, Functions, and Interactions of Liquids and Biomolecular Systems | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 平川 和貴 Kazutaka Hirakawa | 光線力学的療法の基礎研究、ナノ粒子の光・物理化学 Fundamental Study on Photodynamic Therapy, Photo- Physical Chemistry of Nanoparticles | 浜松 Hamamatsu |

| 担当教員 Academic Staff | | 教育研究分野 Research Area | 所属 キャンパス |
|------------------------|-----------------------------|---|-----------------|
| 教授 Prof. | 符 徳 勝 Desheng Fu | 新規グリーンな多機能性(誘電・圧電・焦電・光電)酸化物の開発, 固体物性 Searching for novel green multi-functional oxides (dielectrics/piezoelectrics/pyroelectrics/electro-optics), solid state physics. | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 藤 間 信 久 Nobuhisa Fujima | 第一原理計算による物質中のナノスケール原子構造・電子構造 Nano Scale Atomic and Electronic Structures in Materials by First Principles Calculation | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 間 瀬 暢 之 Nobuyuki Mase | グリーン有機化学とキラルテクノロジー Green Organic Chemistry and Chiral Technology | 浜松 Hamamatsu |
| ※1 教授 Prof. | 三 重 野 哲 Tetsu Mieno | ナノチューブ, フラーレンなどのナノ物質材料の合成, 物性および応用。新しいプラズマプロセス研究。 Production, Analysis and Application of Nano-materials Such as Nanotubes and Fullerenes. Development of new plasma-processing methods. | 静岡 Shizuoka |
| ※1 教授 Prof. | 依 田 秀 実 Hidemi Yoda | 微量生命維持物質構築を目指す新方法論開発と合成戦略、新規化学酵素設計と生命反応論の解明。 Development and Total Synthesis of Biologically Active Materials. Design of New Chemzymes and Application to Catalytic Asymmetric Reactions | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 李 洪 譜 Hongpu Li | 光ファイバ工学, 光ファイバセンサー, 非線形ファイバ光学, 光情報処理 Fiber Optics, Fiber Sensors, Nonlinear Fiber Optics, Optical Information Processing | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 脇 谷 尚 樹 Naoki Wakiya | 気相法による新規機能性セラミックス薄膜の作製と物性 Preparation and properties of novel functional ceramics thin films through physical vapor deposition | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 海老原 孝 雄 Takao Ebihara | 希土類および3d遷移金属間化合物の純良単結晶育成および磁性と伝導・超伝導についての電子輸送論的研究 Investigation of electrotransport properties in high quality single crystals of rare earth and 3d-transition intermetallic compounds. | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. | 奥 谷 昌 之 Masayuki Okuya | 光機能性薄膜の作製と応用 Film formation and application to opt-electronic devices | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 清 水 一 男 Kazuo Shimizu | マイクロプラズマの医療分野、環境分野への応用研究(プラズマドラッグデリバリー、プラズマアクチュエータ、室内空気浄化) Microplasma applications to medical and environmental field (Plasma drug delivery, plasma actuator, indoor air treatment) | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 田 中 康 隆 Yasutaka Tanaka | 有機合成と超分子化学を基本とする不斉情報転写や光分子デバイス Chiral Information Transfer and Photo-molecular Devices Based on Synthetic Organic and Supramolecular Chemistry | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 富 田 靖 正 Yasumasa Tomita | 無機固体イオニクス材料の合成および物性評価 Synthesis and Characterization of Inorganic Materials for Solid State Ionics | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 中 村 篤 志 Atsushi Nakamura | 2次元層状物質の結晶成長および物性評価 Synthesis and Characterization of 2D materials | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 鳴 海 哲 夫 Tetsuo Narumi | 創薬を指向した有機化学的手法の開発、生命現象を有機化学で理解するための機能性分子の創製 Organic Chemistry-Driven Drug Discovery and Chemical Biology | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 松 田 靖 弘 Yasuhiro Matsuda | 溶液中およびゲル中の高分子構造の解析 Characterization of Polymer Structure in Solution and Gel | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | Daniel Moraru | ナノスケール及び原子レベルエレクトロニクス、ナノ材料科学 Nanoscale and Atomic-Scale Electronics, Nano-Materials Science | 浜松 Hamamatsu |
| 講 師 Lecturer | 守 谷 誠 Makoto Moriya | 超分子の規則的な配列を利用した分子イオニクスに関する研究 Molecular Ionics Using Supramolecular Assemblies | 静岡 Shizuoka |
| 助 教 Assist.Prof. | 佐 藤 浩 平 Sato Kohei | ペプチド・タンパク質化学を基盤とするケミカルバイオロジー研究 Peptide/Protein-Based Chemical Biology | 浜松 Hamamatsu |

情報科学専攻

Department of Information Science and Technology

※1: 令和4年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2022

※2: 令和5年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2023

※3: 令和6年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2024

| 担当教員 Academic Staff | | 教育研究分野 Research Area | 所属 キャンパス |
|------------------------|--|--|-----------------|
| ※1 | 教授 Prof. 浅井 秀樹 Hideki Asai | SI/PI/EMC設計のための三次元モデリングとシミュレーション 3-dimensional modeling & simulation for SI/PI/EMC design | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 荒木 由布子 Yuko Araki | 統計的モデリング, 関数データ解析, バイオ統計学 Statistical Modeling, Functional data analysis, Biostatistics | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 石原 進 Susumu Ishihara | モバイルコンピューティング, コンピュータネットワーク, モバイルネットワーク Mobile Computing, Computer Networks, Mobile Networks | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 大島 純 Jun Oshima | 学習科学, 教育工学 Learning Sciences, Educational Technology | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 大島 律子 Ritsuko Oshima | 学習科学, 教育工学 Learning Sciences, Educational Technology | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 大橋 剛介 Gosuke Ohashi | 画像センシング, 画像処理 Sensing via Image Information, Image Processing | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 高口 鉄平 Teppei Koguchi | 情報通信経済学, パーソナルデータの経済分析 ICT Economics, Economic Analysis of Personal Data | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 小西 達裕 Tatsuhiko Konishi | 知的教育システム, 知的インタフェース Intelligent Educational Systems, Intelligent Human Interfaces | 浜松 Hamamatsu |
| ※1 | 教授 Prof. 酒井 三四郎 Sanshiro Sakai | ソフトウェア開発環境, 協調学習, プログラミング学習 Software Development Support Environment, Computer Supported Collaborative Learning, Programming Learning | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 佐治 斉 Hitoshi Saji | ヘリテレステム Helitele system | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 塩見 彰睦 Akichika Shiomi | 画像処理, 組み込み用画像処理システム Image Processing, Embedded Image Processing System | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 杉浦 彰彦 Akihiko Sugiura | 超高精細画像の高効率符号化, ワイヤレスネットワーク通信の応用 High Efficiency Encoding of Ultra High Definition Television, Application of Wireless Network Communication | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 杉山 岳弘 Takahiro Sugiyama | 画像処理と応用 Image Processing and Application | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 鈴木 信行 Nobuyuki Suzuki | 非古典述語論理, Kripke意味論 Non-classical Predicate Logics, Kripke Semantics | 静岡 Shizuoka |
| | 教授 Prof. 竹内 勇剛 Yugo Takeuchi | 認知科学, 対話コミュニケーション, HAI Cognitive Science, Verbal Communication, Human-Agent Interaction | 浜松 Hamamatsu |
| | 教授 Prof. 田中 直樹 Naoki Tanaka | 作用素半群と発展方程式 Semigroups of Operators and Evolution Equations | 静岡 Shizuoka |
| | 教授 Prof. 土屋 麻人 Asato Tsuchiya | 素粒子論, 場の量子論, 弦理論, 宇宙論 Theoretical Particle Physics, Quantum Field Theory, String Theory, Cosmology | 静岡 Shizuoka |

| 担当教員 Academic Staff | | 教育研究分野 Research Area | 所属 キャンパス |
|------------------------|-----------------------------|--|-----------------|
| 教授 Prof. | 永吉実武 Sanetake Nagayoshi | 経営情報システム、技術経営、企業工学 Management Information Systems, Management of Technology, Enterprise Engineering | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 西垣正勝 Masakatsu Nishigaki | 要素技術・運用技術・ユーザ特性を統合したヒューマンクス情報セキュ リティ Humanics Information Security with Consideration of Optimization through Technological, Management and User Aspects | 浜松 Hamamatsu |
| ※2 教授 Prof. | 西村雅史 Masafumi Nishimura | 音声認識、行動認識、高齢者・障害者支援のための音声技術応用 Speech Recognition, Sound-Based Behavior Recognition, Application of Speech Technologies for Supporting the Elderly and the Disabled | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 能見公博 Masahiro Nohmi | 超小型衛星開発、衛星協調制御、宇宙ロボット、月惑星探査 Nano-satellite development, Satellites cooperative control, Space robotics, Lunar and planetary exploration | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 長谷川孝博 Takahiro Hasegawa | 情報基盤、情報システム、情報セキュリティ Information Infrastructure, Information System, Information Security | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 前田恭伸 Yasunobu Maeda | リスクマネジメント、リスクコミュニケーション、リスク情報システム Risk management, Risk communication, Risk information system | 浜松 Hamamatsu |
| ※3 教授 Prof. | 三浦憲二郎 Kenjiro T. Miura | 形状処理工学、コンピュータグラフィクス、画像処理、知的光計測 Computer Aided Geometric Design, Computer Graphics, Image Processing, Intelligent Optical Measurement | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 道下幸志 Koji Michishita | 高度情報化システムの雷害対策 Lightning Protection for Information-oriented and Computerized System | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 峰野博史 Hiroshi Mineno | 知的IoTシステム、コンシューマデバイス&システム、農業AI Intelligent IoT System, Consumer Device & System, Agricultural Artificial Inttelligence | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 宮崎真 Makoto Miyazaki | 認知・脳科学、心理物理学、スポーツ科学 Cognitive and Brain Sciences, Psychophysics, Sport Sciences | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 宮崎佳典 Yoshinori Miyazaki | 数値シミュレーション、e-Learning、数学&英語教育に応用したソフト ウェア制作 Numerical Simulation, e-Learning, Software Development on Math & English Education | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 宮崎倫子 Rinko Miyazaki | 遅れを持つ微分方程式の定性論 Qualitative theory of delay differential equations | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 毛利出 Izuru Mori | 非可換代数幾何学 Noncommutative Algebraic Geometry | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. | 和田忠浩 Tadahiro Wada | 無線通信システム、無線ネットワーク、誤り訂正符号 Wireless Communication Systems, Wireless Networks, Error Correction Codes | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 一ノ瀬元喜 Genki Ichinose | 複雑系、ネットワーク科学、進化ゲーム Complex System, Network Science, Evolutionary Games | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 伊藤友孝 Tomotaka Ito | ロボット制御、制御工学、福祉工学、人間支援 Robotics, Control Engineering, Welfare technology, Human support | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 臼杵深 Shin Usuki | ナノ・マイクロ領域における3Dインプロセス計測とモデル化 Three dimensional in-process measurement and geometric modeling for the nano-micro manufacturing industry | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 大木哲史 Tetsushi Oki | 情報セキュリティ、監視社会とプライバシー、情報社会における本人性 Information Security, Privacy and Surveillance society, Identity Science | 浜松 Hamamatsu |

| 担当教員 Academic Staff | 教育研究分野 Research Area | 所属 キャンパス |
|--|--|-----------------|
| 准教授 Assoc.Prof. 大本 義正 Yoshimasa Ohmoto | ヒューマンエージェントインタラクション、インタラクションデザイン、人間の内部状態推定 Human-Agent Interaction, Interaction Design, Human State Estimation | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 甲斐 充彦 Atsuhiko Kai | 音声情報処理(音声認識, 音声言語インタフェース), パターン情報処理 Speech Information Processing (Speech Recognition System, Spoken Language Interface), Pattern Information Processing | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 狩野 芳伸 Yoshinobu Kano | 自然言語処理, テキストマイニング, 人工知能, 対話システム Natural Language Processing, Text Mining, Artificial Intelligence, Dialog System | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 木谷 友哉 Tomoya Kitani | コンピュータネットワーク, 高度交通システム, 二輪車情報学 Computer Networks, Intelligent Transport Systems, Bikeinformatics | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 桐山 伸也 Shinya Kiriyama | 音声言語情報処理, 知的情報処理, ヒューマンインタフェース Spoken Language Processing, Intelligent Information Processing, Human Interface | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 小林 祐一 Yuichi Kobayashi | ロボット制御・行動計画, センサ情報処理, 画像処理, 無人車両 Robotics, Control and Motion Planning of Robot, Sensor Information Processing, Image Processing, Unmanned Vehicle | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 立蔵 洋介 Yosuke Tatekura | 音情報処理(音場制御・再生, 音声強調, 音源分離) Speech and Acoustic Information Processing (Sound Field Control and Reproduction, Speech Enhancement, Sound Source Separation) | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 庭山 雅嗣 Masatsugu Niwayama | 生体計測, 医用光学, 近赤外分光法 Biomedical Measurement, Biomedical Optics, Near-infrared Spectroscopy | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 福田 直樹 Naoki Fukuta | マルチエージェントシステム, モバイルエージェント, セマンティックウェブ Multi-Agent Systems, Mobile Agents, Semantic Web | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 保坂 哲也 Tetsuya Hosaka | 幾何学的群論 Geometric Group Theory | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. MEJIA Diego | 数理論理学, 強制法理論および実数直線上の組合せ論 Mathematical Logic, Forcing theory and combinatorics of the real line | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. 森田 純哉 Junya Morita | 認知モデリング, インタラクティブシステム, 知的認知支援, 生理/行動データ分析 Cognitive Modeling, Interactive System, Intelligent Cognitive Support, Physio-Behavioral data analysis | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 森田 健 Takeshi Morita | 素粒子論, 超弦理論, 重力理論, 理論物理 Theoretical Particle Physics, Superstring, Gravity, Theoretical Physics | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. 山本 祐輔 Yusuke Yamamoto | 情報検索, 情報の信憑性, 態度・行動変容のインタラクション, 人と情報のエコシステム Information Retrieval, Information Credibility, Interaction Design for Persuasion, Human-Information Technology Ecosystem | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 山本 泰生 Yamamoto Yoshitaka | データマイニング, ビッグデータ処理, 人工知能基礎 Data Mining, Big Data Processing, Foundations of Artificial Intelligence | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. 依岡 輝幸 Yorioka Teruyuki | 数理論理学, 強制法理論およびアレフ1上の組合せ論 Mathematical Logic, Forcing theory and combinatorics on the first uncountable cardinal | 静岡 Shizuoka |
| 講師 Lecturer 沖田 善光 Yoshimitsu Okita | 機能的食品によるヒトの生理機能の計測・解析, 健康科学 Physiological Measurement and Analysis for the Functional Foods and Drinks, Health Science | 浜松 Hamamatsu |
| 講師 Lecturer 遠山 紗矢香 Sayaka Tohyama | 認知科学, 協調学習, プログラミング教育, STEM/STEAM教育 Cognitive science, Collaborative learning, Programming/Coding education, STEM/STEAM education | 浜松 Hamamatsu |
| 助教 Assist.Prof. 石川 翔吾 Shogo Ishikawa | 認知症情報学, 人工知能, 高齢社会デザイン Computer science and technology for human cognitive disorder, Artificial intelligence, Aging society design | 浜松 Hamamatsu |

環境・エネルギーシステム専攻
Department of Environment and Energy System

※1: 令和4年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2022
 ※2: 令和5年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2023
 ※3: 令和6年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2024

| 担当教員 Academic Staff | | 教育研究分野 Research Area | 所属 キャンパス |
|------------------------|------------------------------|---|-----------------|
| 教授 Prof. | 大岩 孝彰 Takaaki Oiwa | 精密機械システム, 精密機構, 精密計測 Precision Machine System, Precision Mechanism and Precision Measurement | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 川本 竜彦 Tatsuhiko Kawamoto | 沈み込み帯流体力学, 地質学, 鉱物科学 Theory of subduction-zone fluids, Geology, Mineralogical Science | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. | 北村 晃寿 Akihisa Kitamura | 古海洋学, 古生物学, 第四紀学 Paleoceanography, Paleontology, Quaternary Research | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. | 木村 浩之 Hiroyuki Kimura | 地球微生物学, 環境ジェノミクス, 新エネルギー創成 Geomicrobiology, Environmental Genomics, Novel Energy Production | 静岡 Shizuoka |
| ※3 教授 Prof. | 金原 和秀 Kazuhide Kimbara | 環境生物工学, 微生物利用学 Environmental Biotechnology, Applied Microbiology | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 桑原 不二朗 Fujio Kuwabara | 熱流動における輸送現象 Transport Phenomena Associated with Heat and Fluid Flow | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 孔 昌一 Chang Yi Kong | 超臨界流体工学, 熱物性, ナノ炭素材料 Supercritical Fluids, Thermophysical Properties, Carbon Nanomaterials | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 佐藤 慎一 Shinichi Sato | 現生古生態学, 保全古生物学 Actuopaleoecology, Conservation Paleobiology | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. | 真田 俊之 Toshiyuki Sanada | 流体工学, 混相流, 洗浄 Fluids Engineering, Multiphase Flow, Cleaning | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 島村 佳伸 Yoshinobu Shimamura | 材料力学, 複合材料工学 Mechanics of Materials, Composite Materials | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 塚越 哲 Akira Tsukagoshi | 多様性生物学, 進化古生物学 Biodiversity, Paleobiology | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. | 野口 敏彦 Toshihiko Noguchi | パワーエレクトロニクス Power Electronics | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 早川 邦夫 Kunio Hayakawa | 塑性加工学, 損傷力学, 塑性加工プロセスシミュレーション, プロセス・トライボロジー Material Forming Processing, Damage Mechanics, Numerical analysis on forming process, Tribology on forming process | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 福原 長寿 Choji Fukuhara | 反応工学, 触媒化学, 物理化学 Reaction Engineering, Catalysis Chemistry, Physical Chemistry | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 藤原 健智 Taketomo Fujiwara | 微生物生化学, 環境微生物学 Microbial Biochemistry, Environmental Microbiology | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. | 二又 裕之 Hiroyuki Futamata | 応用環境微生物学, 微生物生態学 Applied Environmental Microbiology, Microbial Ecology, | 浜松 Hamamatsu |
| 教授 Prof. | 守田 智 Satoru Morita | 非線形動力学, 数理生物学, 複雑ネットワーク Nonlinear Dynamics, Mathematical Biology, Complex Networks | 浜松 Hamamatsu |

| 担当教員 Academic Staff | | 教育研究分野 Research Area | 所属 キャンパス |
|------------------------|---------------------------|---|-----------------|
| 教授 Prof. | 王 権 Wang Quan | リモートセンシング学、生態モデル、環境変動 Remote Sensing, Ecological Modeling, Environmental Change | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. | 朝間 淳一 Junich Asama | 磁気軸受, ベアリングレスモータ, パワーメカトロニクス Magnetic Bearing, Bearingless Motor, Power Mechatronics | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 石橋 秀巳 Hidemi Ishibashi | 火成岩岩石学, マグマ物性, 火山学 Igneous petrology, Physical properties of magma, Volcanology | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. | 大矢 恭久 Yasuhisa Oya | 核融合炉化学、核エネルギーシステムの化学、 β 放射体の化学 Chemistry for nuclear fusion and nuclear energy system, Chemistry for beta-emission nuclides | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. | 岡島 いくみ Idzumi Okajima | 超臨界流体工学, 化学工学 Supercritical Fluids, Chemical Engineering | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 菊池 将一 Shoichi Kikuchi | 材料強度学, 金属疲労 Strength and Fracture of Materials, Fatigue of Metals | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 新谷 政己 Masaki Shintani | 複合微生物集団における可動性遺伝因子の挙動に関する研究 Analyses of behaviors of mobile genetic elements in microbial consortia. | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 藤井 朋之 Fujii Tomoyuki | 材料強度学 Strength and Fracture of Materials | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 松井 信 Makoto Matsui | 高温気体力学, プラズマ分光学, 宇宙推進工学, Space Propulsion System High Temperature Gas Dynamics, Plasma Spectroscopy | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 三井 雄太 Yuta Mitsui | 固体地球変動の物理、地震・火山性地殻変動 Solid Earth Geophysics, Seismological and Volcanological deformation | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. | 本澤 政明 Motozawa Masaaki | 流体工学, 非ニュートン流体, 流体機能, 流動制御 Fluid engineering, Non-Newtonian fluid, Fluid function, Flow control | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | Mobedi Moghtada | 数値伝熱学、伝熱促進、蓄熱, Numerical heat transfer, heat transfer promotion, heat storage | 浜松 Hamamatsu |
| 准教授 Assoc.Prof. | 矢永 誠人 Makoto Yanaga | 放射性核種の環境動態, 放射線・化学物質影響科学 Dynamics of Radionuclides, Risk Sciences of Radiation and Chemicals | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. | 渡部 綾 Watanabe Ryo | 触媒化学, 反応工学, 物理化学 Catalysis Chemistry, Reaction Engineering, Physical Chemistry | 浜松 Hamamatsu |
| 講師 Lecturer | 近田 拓未 Takumi Chikada | 核融合炉材料化学、先進エネルギーシステムの化学、水素同位体の化学 Fusion reactor material chemistry, Chemistry for advanced energy systems, Chemistry for hydrogen isotopes | 静岡 Shizuoka |
| 助教 Assist.Prof. | 菌部 礼 Sonobe Rei | リモートセンシング Remote Sensing | 静岡 Shizuoka |

バイオサイエンス専攻

Department of Bioscience

※1: 令和4年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2022

※2: 令和5年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2023

※3: 令和6年3月退職予定/Scheduled to retire in March 2024

| 担当教員 Academic Staff | 教育研究分野 Research Area | 所属 キャンパス |
|---|---|----------------|
| 教授 Prof. 栗井光一郎 Koichiro Awai | 光合成生物の脂質生理学 Physiological functions of lipids in photosynthetic organisms | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. 丑丸敬史 Takashi Ushimaru | 細胞周期, 細胞成長, ストレス応答, プロテオミクス Cell Cycle, Cell Growth, Stress Response and Proteomics | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. 加藤竜也 Tatsuya Kato | 効率的組換えタンパク質生産を可能にするカイコバイオテクノロジー Silkworm Biotechnology for efficient recombinant protein production | 静岡 Shizuoka |
| ※1 教授 Prof. 河岸洋和 Hirokazu Kawagishi | 菌類由来の2次代謝産物の化学的研究 Chemical Studies on Secondary Metabolites from Fungi | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. 木村洋子 Yoko Kimura | タンパク質の品質管理機構の研究 Analyses of Protein Quality Control | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. 鈴木雅一 Masakazu Suzuki | 脊椎動物の生理機構および環境適応機構, 内分泌器官の形態形成と機能 Physiology of vertebrates: molecular and environmental considerations, Morphogenesis and function of endocrine glands | 静岡 Shizuoka |
| ※1 教授 Prof. 瀧川雄一 Yuichi Takikawa | 植物病原細菌の分類同定および進化 Taxonomy and Evolution of Plant Pathogenic Bacteria | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. 竹之内裕文 Hirobumi Takenouchi | 哲学, 倫理学, 死生学 philosophy, ethics, thanatology | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. 徳元俊伸 Toshinobu Tokumoto | 卵成熟・排卵の分子メカニズムの解明 Molecular Mechanism of Oocyte Maturation and Ovulation | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. 轟泰司 Yasushi Todoroki | タンパク質の機能を制御する小分子の創製 Development of Small Molecule Modulators of Protein Function | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. 富田因則 Motonori Tomita | ゲノムワイド関連解析による米麦の遺伝子探索と遺伝的改変 Gene Identification and Genetic Modification of Rice and Wheat by Genome-Wide Association Study | 静岡 Shizuoka |
| ※3 教授 Prof. 朴龍洙 Enoch Y. Park | 生物機能の革新的応用によるナノマテリアルの創製 Development of Nanomaterials by Application of Innovative Biological Function | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. 原正和 Masakazu Hara | 植物における環境ストレスタンパク質 Study on Environmental Stress Protein in Plants | 静岡 Shizuoka |
| 教授 Prof. 平井浩文 Hirofumi Hirai | 白色腐朽担子菌の有するリグニン分解能及び環境汚染物質分解能に関する生化学及び分子生物学的研究 Biochemical and Molecular Biological Studies on Degradation of Lignin and Xenobiotics by White-rot Fungi | 静岡 Shizuoka |
| ※2 教授 Prof. 森田達也 Tatsuya Morita | ルミナコイド(難消化性糖類)の栄養生理作用 Physiology of Luminacoids (Dietary Indigestible Components) | 静岡 Shizuoka |
| ※3 教授 Prof. 山崎昌一 Masahito Yamazaki | 生体膜および膜タンパク質・細胞骨格の生物物理学 Biophysics of Biomembranes, Membrane Proteins, and Cytoskeleton | 静岡 Shizuoka |

| 担当教員 Academic Staff | 教育研究分野 Research Area | 所属 キャンパス |
|---|---|-----------------|
| 教授 Prof. 山本 歩 Ayumu Yamamoto | ゲノム動態の分子メカニズム Molecular mechanism of genome dynamics | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. 大吉 崇文 Takanori Oyoshi | 疾患に関するDNAやRNAが形成する局所構造の機能解明 Functions of DNA and RNA local conformations related with disease | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. 木 寄 暁子 Akiko Kozaki | 植物環境応答の分子メカニズム Molecular mechanism of plant responded to environmental factors | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. 小 谷 真也 Shinya Kodani | 抗生物質生産の研究 Research on antibiotic production | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. 茶 山 和 敏 Kazutoshi Sayama | 新生児の免疫機能に対する母乳中の免疫関連物質の役割に関する研究, 種々の疾病に対する食品成分の生理学的機能性 Role of immunochemical components in milk on immune function in neonates, Physiological function of food constituents to various diseases | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. 崔 宰 熏 Jae-Hoon Choi | 植物成長調節物質に関する化学生物学的研究 Chemical and biological studies on plant-growth regulators | 静岡 Shizuoka |
| 准教授 Assoc.Prof. 村 田 健 臣 Takeomi Murata | 生理活性糖鎖分子の構造と機能に関する化学生物学的研究 Chemical and Biological Studies on the Structure and Functions of Physiologically Active Glycans and Glycoconjugates | 静岡 Shizuoka |
| 講 師 Lecturer 田 代 陽 介 Yosuke Tashiro | 微生物間相互作用の基礎ならびに応用研究 Basic and Applicative Studies on Microbial Interactions | 浜松 Hamamatsu |
| 助 教 Assist.Prof. 宮 崎 剛 亜 Takatsugu Miyazaki | 糖質関連酵素の構造生物学的研究および応用研究 Structural Biology and Application of Carbohydrate-active Enzymes | 静岡 Shizuoka |